

令和8年度

学校教育目標

京都市立桃山中学校

◆学校教育目標

『ともに生きる』

～多様な他者とともに、みんなが幸せに生きる社会を創造できる生徒の育成～

自主・自律・自治を尊び、自立を目指す

1. 目指す生徒像

一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せを考え、明るく未来を創造していくために

- 主体的に学ぶ生徒
- 社会性を伸ばす生徒
- 明るく健康な生徒

2. 目指す学校像

- 人と人が強い信頼関係で結ばれた学校
- 明るく元気で、笑顔と優しさに満ちた学校
- 目標に向かって皆で力を合わせ、一つになれる学校
- 規範意識の高い学校
- 人権が尊重され、一人一人が安心して通える学校
- 美しく、安全で、教育環境の整備された学校
- 社会に開かれた学校

3. 目指す教職員像

- 教育公務員としての責務を自覚した言動に徹し、子どもや保護者から信頼される教職員
- 一人一人の子どもに愛情を持って接し、常に生徒理解に努める教職員
- 主体的に学び、自らの資質・指導力の向上を図る教職員
- 一つ一つの教育活動に明確な目標を持ち、その検証と改善を恒常的に行う教職員
- リーダー（主任）の下、活発な意見交換を行い、組織的に活動する教職員
- 固定観念や教科・担当の枠にとらわれず、新しい取組に果敢に挑戦する教職員

4. 学校経営の重点

- 子どもの命を守りきる教育活動・学校運営に徹する。
- 子どもや家庭の多様な困りに寄り添い、外部機関とも連携し、総合的な支援を行う。
- 学校・地域の実態や社会的課題に応じた道徳教育や人権教育を推進する。
- 教職員同士が学び合い、相談し、支え合える、風通しのよい職場づくりを推進する。
- 働き方改革の推進により、教職員の学びの充実や健康の保持・増進に努める。
- 子どもたちの学びの質を高めるため、授業改善に組織的に取り組む。
- G I G Aスクール構想の推進に努めるとともに、情報モラル教育の充実を図る。
- カリキュラム・マネジメントの視点をもって、組織的な教育活動を推進する。
- あらゆる教育活動において、保護者・地域との連携・協働を推進する。
- 学校評価を活用して、教育活動の改善を図る。
- キャリア教育と地域連携を柱とし、総合的な学習の時間の充実を図る。
- 小中一貫教育をはじめとする校種間連携を推進する。